

いもち病・  
チョウ目害虫に **安定した効果**

# ビーム<sup>TM</sup>パディート<sup>®</sup> 箱粒剤



**殺虫殺菌剤**

シアントラニリプロール・トリシクラゾール粒剤

TMが付記された表示は、デュポン、ダウ・アグロサイエンスもしくはパイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標です。CYAZYPYR<sup>®</sup>、パディート<sup>®</sup>は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。



powered by

**CYAZYPYR<sup>®</sup>**  
ACTIVE INGREDIENT

## 育苗箱専用殺虫殺菌剤

# ビーム<sup>TM</sup>パディート<sup>®</sup> 箱粒剤

有効成分：トリシクラゾール……………4.00% シアントラニプロール…0.75%  
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

### 特長

- トリシクラゾール(ビーム)はいもち病菌の侵入を強く阻止し、葉いもちを長期間にわたり防除します。
- シアントラニプロール(パディート)はチョウ目害虫に優れた残効を示し、その他幅広い害虫にも有効です。
- 上記2成分の混合剤で、水稻栽培の初・中期に発生する主要な病害虫の防除が可能です。

### 適用病害虫と使用方法

2020年9月現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数*	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数*	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数*
稲(箱育苗)	いもち病 イネドロオウムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ コブノメイガ フタオビコヤガ イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当たり50g	移植 3日前～ 移植当日	1回	育苗箱の 上から 均一に散布	1回	4回 (育苗箱への 処理は1回、 本田では3回)

★上記以外には使用しない

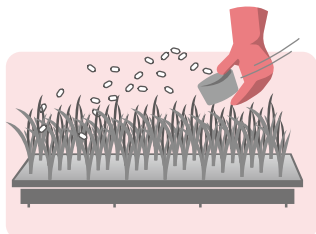
\*印は収穫物への残留回避のため本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

### ■上手な使い方

移植3日前～移植当日に、育苗箱1箱あたり50gを均一に散布してください。

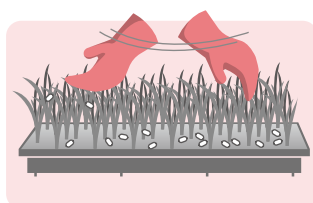
#### 1 箱当たり50gを均一に

育苗箱の上から均一になるように散布してください。



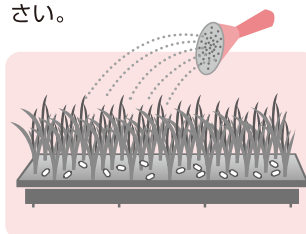
#### 2 軽く払って

薬剤散布後、苗の上半分を軽く払い、葉に付着している薬剤を培土の上に落としてください。



#### 3 軽く灌水

最後に上から軽く灌水し、薬剤を培土の上に落ち着かせてください。



### ⚠ 効果・薬害等の注意

- 所定量をそのまま手、または散粒機で育苗箱中の苗の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤は軽く払い落としてください。
- 育苗箱の土壌表面が乾燥していて苗を田植え機にのせる際、薬剤が落下するおそれがある場合は散布後葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く灌水してください。
- 軟弱徒長苗、老化苗などには使用しないでください（薬害）。
- 稲苗葉がぬれていると薬害を生じやすいので散布直前の灌水はしないでください。
- 代かきはしていけないに行ない、移植後田面が露出したりしないように注意してください。移植後は直ちに入水し、水深2～3cm程度に保ち、極端な浅水や深水にしないでください（薬害）。
- 深植にならないように注意してください（薬害）。
- 移植後、低温が続き苗の活着遅延が予測される場合、極端な高温（30℃以上）が続くと予想される場合は、使用しないでください（薬害）。
- 本田が砂質土壌の水田、漏水田、未熟堆肥多用田では使用しないでください。
- 使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

保管…直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。